

東北地方太平洋沖地震被災地支援活動の記録

派遣職員 石川 貴紀

所属 管財課

<p><u>1 派遣期間</u></p> <p>平成23年 6月 9日 ~ 平成23年 6月18日</p>
<p><u>2 派遣先及び主な活動場所</u></p> <p>大槌町町民課 大槌町内各避難所</p>
<p><u>3 支援活動の内容及び活動の状況</u></p> <p>支援活動の内容</p> <p>戸籍謄本・抄本の発行、住民票の発行、印鑑登録、印鑑証明書の発行、死亡届の受付等の窓口業務や各避難所を周り戸籍や住民票申請の受付・配布。</p> <p>支援活動の状況</p> <p>戸籍や住民票は、相続や罹災証明での添付書類となっているため、窓口は連日整理券が必要になるくらい混雑していましたが、職員が死亡・負傷している、避難所や遺体安置所等の施設の管理をしているなどの理由で人手不足になっており、待ち時間が長くなっていました。</p>
<p><u>4 活動を通じて感じたこと</u></p> <p>震災後は、資材や人材不足してしまいますが、速やかに市役所の機能を復旧させる必要があると感じました。そのためには、職員ができるだけ多くの部署の仕事を経験し、不足している部署の仕事を補える体制が必要だと思いました。</p>
<p><u>5 支援活動から見た被災状況など</u></p> <p>震災後三ヶ月経過してからの派遣でしたが、市街地には、津波の影響を大きく受け半壊した建物や瓦礫、壊れた車などが各所で見られ、復興までには数年～十数年かかりそうな印象を受けました。また、津波の被害があったところは、生臭い臭いがしていましたし、港の加工食品工場は、材料の魚介類が腐り蟻が大量に発生していました</p> <p>人手不足のため職員は、震災発生から働きづめでほとんど休みをとっていませんでしたが、「静岡県の皆さんが来て手伝ってくれたおかげで休暇が取れました」と言われたことが励みになりました。</p>